

認定・表彰実績



防災製品等推奨品®に認定

消防や医療、防災などの有識者や危機管理のプロフェッショナリで構成される一般社団法人 防災安全協会の「防災製品等推奨審査会」によって、災害時に安全に使用でき必要であると認められる「防災製品等推奨品®」に認定されています。



防災防疫製品大賞® 2021 優秀賞を受賞

災害時に役立つ製品の中でも「優れた製品やサービス」を表彰する「防災防疫製品大賞® 2021」新製品開発・セット部門において優秀賞を受賞しました。



災害食大賞® 2022 復興支援賞を受賞

災害時に求められる食品のおいしさや機能性を、防災や食の専門家が評価する「災害食大賞® 2022」において食品以外の製品としては史上初めて復興支援賞の特別賞を受賞しました。

採用・納品実績

□主な採用実績

地方自治体／自治会／民間企業／病院／生活協同組合／公益社団法人
介護福祉施設／銀行 等々

□認定・表彰実績

- ・日本国特許取得 特許番号：第 7194373 号 発明の名称：包装袋
- ・一般社団法人防災安全協会 防災製品等推奨品® 認定
- ・防災防疫製品大賞® 2021 新製品開発・セット部門 優秀賞 受賞
- ・災害食大賞® 2022 復興支援賞 受賞

取材・各種メディア放送など

□新聞掲載 京都新聞／産経新聞

□テレビ TBS／フジテレビ／日本テレビ／CBC テレビ 等々

□雑誌掲載 mono マガジン／エコノミスト 等々

梱包サイズなど

□加熱袋 / ハンドル / スタンド 100 人	□発熱剤 200 人
W440xD340xH280(mm)	W340xD280xH310(mm)
加熱袋 : PET・PP	発熱剤 : アルミニウム 等
ハンドル : PP	□加熱キット 1 式 + 発熱剤 3 個セット 30 人
スタンド : 紙	W700xD400xH190(mm)

ホットプラスにできること

☑ 食品の温め ☑ お湯を沸かす



2層構造を採用することで、発熱剤が発生させる蒸気に触れることなく衛生的に温めや湯沸かしが可能です。
また小さな食品はホットプラス本体とスタンドの間で温めることができます。
主食と副菜を効率よく温められ、一度に約 2 人分の食事を温めることができます。

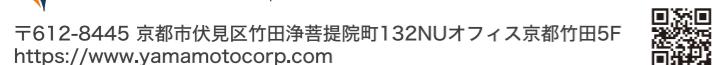
※防災製品等推奨品、防災防疫製品大賞および災害食大賞は一般社団法人防災安全協会の登録商標です。
特許番号：第 7194373 号

製品に関するお問い合わせはこちらまで

〈製販売元〉

有限公司 山本商事 TEL075-605-5169

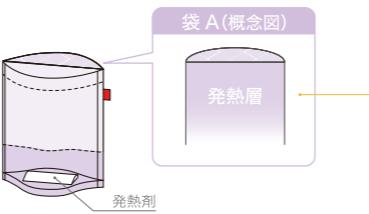
〒612-8445 京都市伏見区竹田浄菩提院町132NUオフィス京都竹田5F
<https://www.yamamotocorp.com>



使用方法

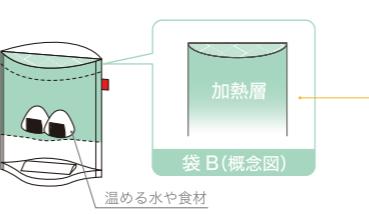
発熱剤反応用に使用する水は、飲料用でなくても温めることができますので非常に雨水や池の水などを利用しての温めが可能です。
また 2 層構造を採用しているので、雨水等で反応させた蒸気が直接食材に触れることがなく、衛生的に食材の温めが可能です。

1> 発熱層(袋 A)に発熱剤を一つセットする



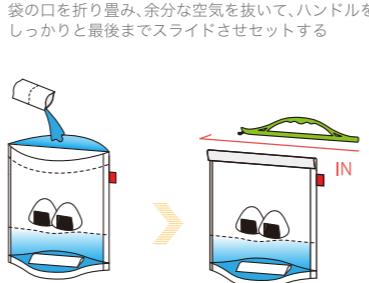
2層構造

2> 加熱層(袋 B)に温めたい水や食材を入れる



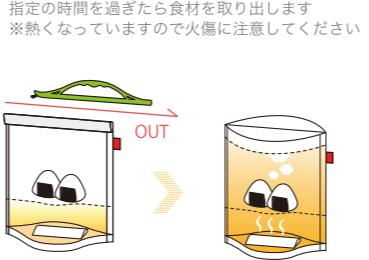
温める水や食材

3> 発熱層(袋 A)に発熱剤反応用の水(雨水や池の水でもOK)を注入



袋の口を折り畳み、余分な空気を抜いて、ハンドルをしっかりと最後までスライドさせセットする

4> 封を閉じたら温まるまで待ちます(15~20 分で温まります)



指定の時間をおこなってください
※熱くなっていますので火傷に注意してください

※製品の仕様、特長、使用方法、使用上のご注意などの詳細はメーカーウェブサイトをご確認下さい。

電

気

や

ガ

ス

に

頼

ら

な

い

温

か

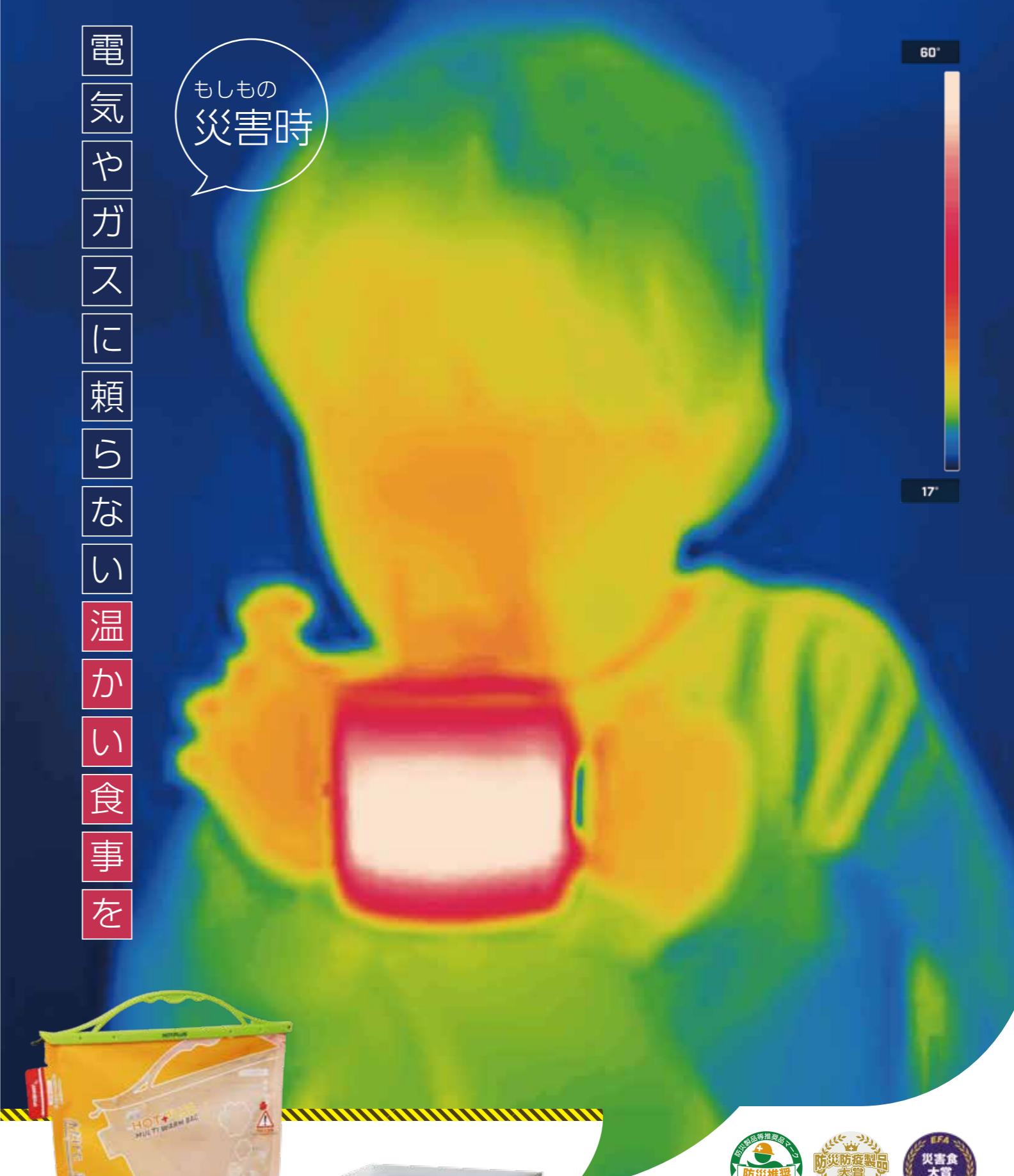
い

食

事

を

もしもの
災害時



災害時「ホッと」する温かい食事をプラス

HOT PLUS
MULTI WARM BAG

特許取得済

災害時、ガスや電気のライフラインが停止した状況下で

温かい食事の提供を可能にする

過去の大規模な災害において、電気・ガス・水道といったライフラインが寸断されると、復旧まで1週間を要するケースが多く見られます。

避難場所での不自由な生活が続く中、缶詰などの冷たいものや固形物が続く

偏った食生活は、短期間でも被災者の健康に悪影響を及ぼします。

冷たい
食事が
続くと

体を冷やすことによる免疫力の低下

その結果、ウイルスや細菌などへの抵抗力が奪われ
避難場所での感染症の流行や様々な健康被害のリスクも



体を温めることにより免疫力 UP

温かい食事は、被災者のストレスを緩和し、抵抗力の低い乳幼児や高齢者の低体温を防ぐ事で、二次災害の抑止にも



HOTPLUS
MULTI WARM BAG

水と発熱剤が反応し、食品の温めや
お湯を沸かす※ことができます。



高齢者や乳幼児に向けた介護食や離乳食の温めに

災害時の食事支援は、単に災害食を分配するだけでなく、被災者のライフステージ（高齢者・乳幼児・要介護者など）に合わせた幅広い食に対応することが求められています。現在備蓄している災害食に「ホットプラス」を追加装備することで、幅広い食事支援が可能になります。

冬期や寒冷地の避難における低体温症のリスク回避に

ライフラインが寸断された厳しい状況下でも、ガスや電気などの燃料を使うことなく、避難施設でも食品の温めやお湯を沸かすことができます。

内閣府発表の日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震の被害想定では、寒冷地での震災対策に「発熱剤入り非常食等の備蓄」が推奨されています。

災害発生に伴う栄養問題

被災地に送付される食品は、炭水化物（ごはん、パン、麺類など）が多く、たんぱく質・ビタミン・ミネラル・食物繊維の不足が生じやすい状況にあります。特に高齢者にとっては、冷たいごはん（おにぎり）など、飲みこみにくい食品が多くなりがちです。

（独）国立健康・栄養研究所のホームページ「災害時の健康・栄養について」より一部抜粋
https://www.nibiohn.go.jp/eiken/info/pdf/koureい_pro.pdf



※令和3年12月21日 内閣府発表 日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震の被害想定についてより

ホットプラスならではの独自技術（特許取得済）

2層構造採用で衛生面に配慮

食品を入れる層と発熱剤を入れる層が分かれているので、温める食品に直接発熱剤や蒸気が触れることなく衛生的に温めが可能！

電気やガスを使わず火災の心配もなく食品の温めができる発熱剤ですが、強いアルカリ性の特性を持つため取り扱いは一定の配慮が必要です。特に包装を食器として使用する災害食は衛生的に取り扱うことが極めて重要です。ホットプラスなら小さな子どもからお年寄りまで安心して温かい食事を楽しむことが可能です。またホットプラスは、

食品衛生法(器具及び容器包装)に合格しています。

その他の特徴

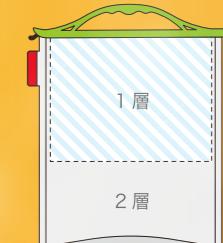
火を使わない ので、避難所でも安心・安全

- ・ 使用する水は、非常に川の水や雨水などでも温めが可能。
- ・ おにぎりなど包装がされていない食品も温め可能。
- ・ 発熱剤から発生する蒸気と温める食材の袋は別なので、池の水を使用した場合でも食材に匂い移りもありません。



2層構造により
衛生的な温めが可能

災害時、貴重な飲用水を使用することなく
汲み置いた水や雨水でも温めが可能です！



食材に直接スチームが当たらない
2層構造を採用

火やガスを使わず
飲料用としての
湯沸かしができる

温める食材を入れる
加熱層

発熱剤が蒸気を発生させる
発熱層

冷たいおにぎりも
そのままの状態で
衛生的に温め可能

● 災害時の新たな加熱機器として注目されています

阪神・淡路大震災の被災者でもある甲南女子大学名誉教授の奥田和子氏はつぎのように述べている。
暖房のない部屋で寒かった。食べ物は冷たく体が冷えて辛かった。
「せめて一杯の温かいお茶が飲みたいかった」と。

「災害食をおいしく食べるには、温かいものは温かくすることが強く望まれます。特に乳児や病気の人など災害弱者にとって、ホットプラスはその願望をかなえる唯一の優れものといえましょう。」

奥田 和子（おくだ かずこ）

甲南女子大学名誉教授、防災安全協会顧問、日本災害食学会顧問、学術博士、食生活デザイン、食文化、災害食危機管理などを専門とし、日本災害食学会に所属している。

主な著書

- ・震災下の食 神戸からの提言[NHK出版]
- ・働く人の災害食 神戸からの伝言[編集工房ノア]
- ・本気で取り組む災害食 個人備蓄のすゝめと共助・公助のあり方[同時社]など

● 様々な用途に適したお湯の生成が可能

飲料用、カップラーメン、体拭き用のホットタオルのお湯として

約7分後に80°C以上に

